



# ベビーバギーMA-G

## 取扱説明書

**この説明書は永くご使用いただくために、読んだ後は大切に保管してください。**

この度は当社製コンパクトベビーカー「ベビーバギーMA-G」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

当製品はコンパクトB型ベビーカーです。赤ちゃんと一緒に出かけられる場合のベビーカーとして、安全性・軽便性に抜群の性能を備えており、皆様方に必ずお喜びいただけるものと確信しております。

当社ではお子様のお健やかなご成長を願って、安全・安心・愛情設計を基本コンセプトに、きめ細かな心くばりによる製品造りに取り組んでおります。

お子様のお健やかなご成長をお祈りするとともに、当製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

## 1.安全にご使用いただくためのご注意

重大な傷害・事故につながる恐れがありますので、  
必ず下記の注意事項をお守り下さい。

### ご使用いただけるお子様

首が安定し、一人座りのできるお子様。参考年齢：生後7カ月～満3歳頃まで  
首の座らないお子様や、一人で座れないお子様には絶対使用しないで下さい。



**警告**

守らなければ重大事故につながる恐れがあります。

1. お子様の健康への影響を考慮して、連続使用時間は1時間以内にとどめてください。
2. ご使用前に必ず、各部に緩み・破損等が無いことを確認して下さい。もし、緩み・破損等がある場合は、そのまま使用せずに、当社へご相談下さい。
3. 組み立てた時、必ず後輪側のセーフティーロックがかかっている事を確認して下さい。
4. シートベルト・肩ベルトは、P6「6.シートベルトの使用法」を参考に、正しい使用方法で必ず着用して下さい。
5. 肩ベルトはお子様の体格に合った状態に調節して下さい。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きついたりする危険性がありますのでご注意下さい。
6. お子様をベビーバギーの中に、絶対に立たせないで下さい。転倒しケガの原因になります。
7. ベビーバギーのハンドルに荷物等を掛けしないで下さい。荷物をハンドルに掛けますと、ベビーバギーが後方に倒れやすくなり、ケガの原因となります。また、車体に過度な負担が掛かり、故障の原因となります。
8. ベビーバギーにお子様を乗せたまま、持ち上げての移動はしないで下さい。急に折たたまれて手指を挟んだり、ケガの原因になります。
9. お子様を乗せている時には、特にストッパーを過信しないで下さい。構造上・機能上・耐久性において、自動車のブレーキのような完全なものではありません。
10. ベビーバギーを折たたむ時、お子様が車体に触れていると、折たたみ部分に手指を挟んだりすることがあります。お子様が車体に触れている時に、開閉操作をすることは絶対におやめ下さい。
11. ベビーバギーは電車などの公共機関での利用において、十分安全性を確保できるものではありません。電車などの公共機関での利用時は、各公共交通機関の案内など規定を守り、安全に注意してご使用下さい。
12. 雷が発生している時は使用しないで下さい。落雷に遭う恐れがあります。
13. お子様を乗せたままエスカレーターでの使用はおやめ下さい。思わぬ事故の原因になります。エスカレーターに乗る時は、必ずベビーカーは折たたんで下さい。
14. 安全のためにセーフティガードは取外さずにご使用下さい。取外してご使用される場合は、ガード受けの穴にお子様が指を突っ込まないようにご注意下さい。



## 注意

守らなければ故障・ケガの原因となります

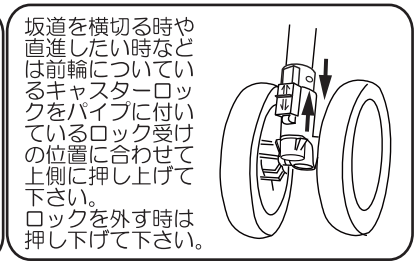
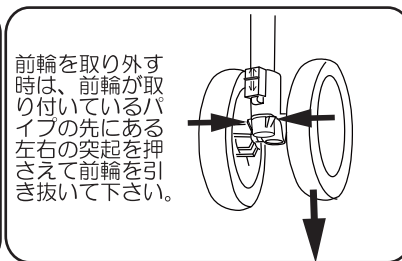
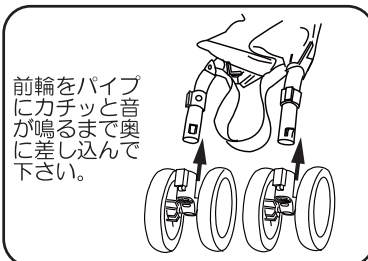
1. お子様を乗せる前に、必ずストッパーをかけて、車輪を固定して下さい。
2. シートベルトを締めていても、お子様が立ち上がったりの場合がありますので、お子様の動作には十分ご注意下さい。
3. ベビーバギーには、2人以上一緒に乗せたり、シート以外の所に乗せたりしないでください。
4. 市販されている2人乗り用の器具を使用するのはお避け下さい。車体に過度の負担がかかり、故障の原因となります。
5. ベビーバギーを人混みの中で使用する時は、他の人に当たったりしないよう十分ご注意下さい。
6. 路上に放置する時には、絶対にお子様を置き去りにしないで下さい。
7. お子様を乗せていない時でも、ベビーバギーを坂道や車道に近い歩道上などの危険な場所に放置しないで下さい。
8. ベビーバギーを折たたむ時は、片方のハンドルを持って折たたんで下さい。両方のハンドルパイプを同時に握りますと、無理な力を加えることになり、本体がねじれる原因になります。
9. 線路を渡る時は、線路のわだちに車輪がはまり込まないようにご注意下さい。
10. ベビーカーを直射日光の下に放置したり、炎天下の中で車のトランクに放置したりすると、ベビーカーの車体が高温になり、火傷をしたりすることがあります。ご注意下さい。
11. ベビーカーのガードの上に荷物などを置いたり、お子様を乗せたりしないで下さい。ガードの破損の原因となります。
12. お子様を乗せていなくてもベビーカーのガードを持っての持ち運びはしないで下さい。ガードの破損の原因となります。

## 安全のための日常点検・管理について

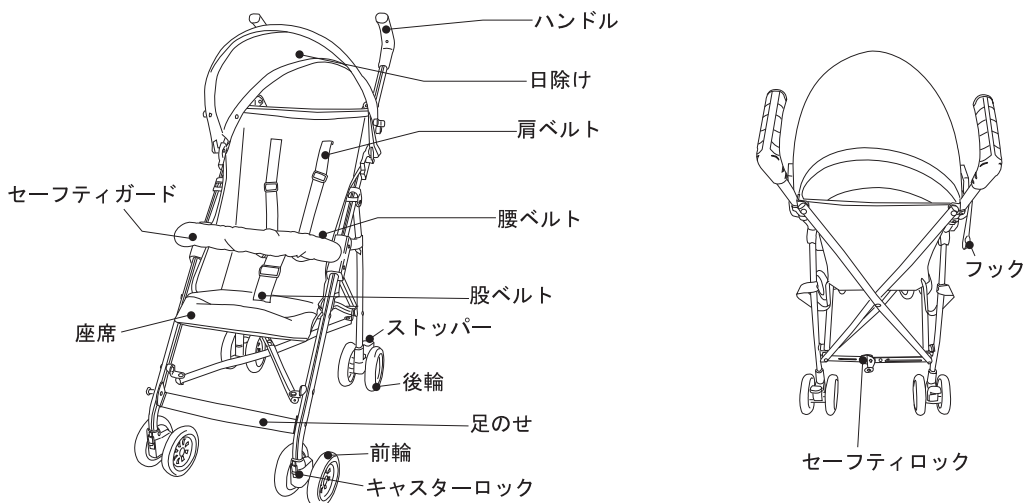
1. 長時間使用を繰り返すことにより、各部が消耗劣化する恐れがありますので、ご使用前には必ずシートベルトや各フレーム、車輪などに異常が無いかを確認下さい。
2. 使用中に車輪など、各部から異常音がしたり、車輪の回転が重くなったりした場合は、直ちに使用を中断し、各部に異常が無いかを点検してください。
3. 過度な荷重や衝撃が加わった場合、また破損・異常を発見した場合は、直ちに使用をおやめ下さい。
4. ぬかるみや砂場など悪路での使用はおやめ下さい。車輪が回らなくなったり、各部の異常音の原因になります。
5. ベビーカーを雨等で濡れたままにしていると、錆が発生し強度が弱くなる原因になります。濡れたりはした場合は、必ず水分をふき取るようにして下さい。日頃のお手入れが、安全性保持の要因です。

## 前輪の取り付け・取り外し

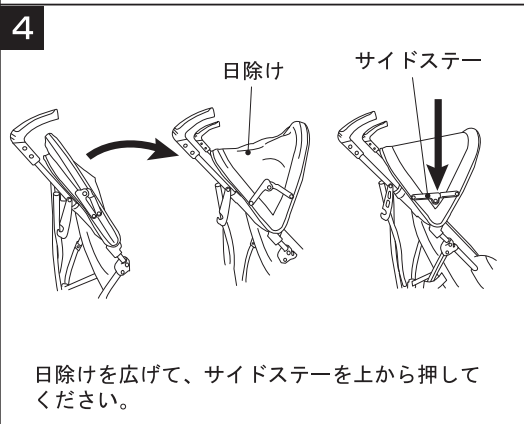
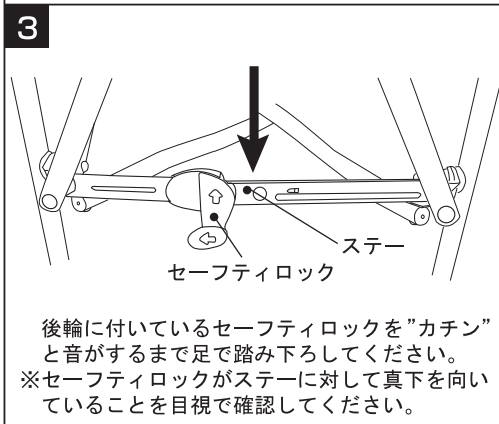
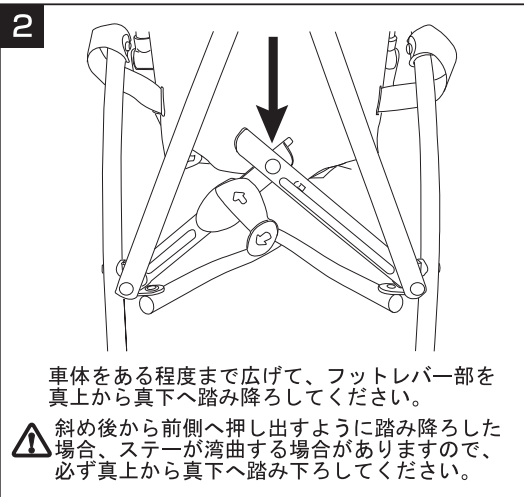
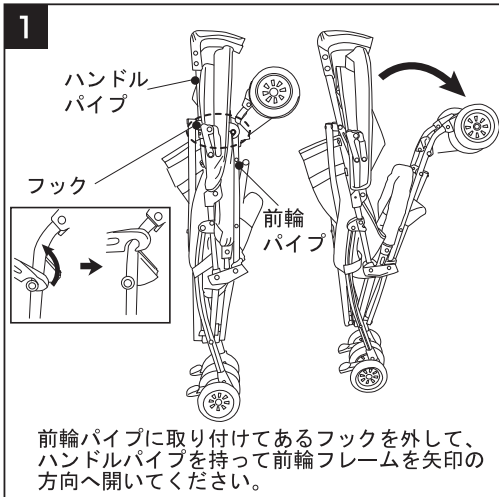
- ベビーカーを箱から出すと前輪が取りはずした状態になっています。ご使用前に必ず前輪を取り付けて下さい。



## 2.各部の名称



## 3.開き方



**!** ベビーバギーを開くとき、お子様がそばにいて、車体に触れていると指等を挟んでケガをする危険があります。十分にご注意ください。

## 4. 折り畳み方

<p><b>1</b></p> <p>日除け      サイドステー</p> <p>日除けサイドステーを下から上へ押し上げて、日除けをたたんでください。</p>	<p><b>2</b></p> <p>フットレバー セーフティロック</p> <p>セーフティロック      フットレバー</p> <p>セーフティロックを左側にスライドさせ、フットレバーを上方向に上げてください。</p>
<p><b>3</b></p> <p>ハンドルパイプを前方向に倒して折りたたんでください。この時、ハンドルパイプのフックを挟み込まないように気を付けてください。</p>	<p><b>4</b></p> <p>ハンドルパイプ      フック      前輪パイプ</p> <p>前輪パイプにフックを掛けてください。</p>



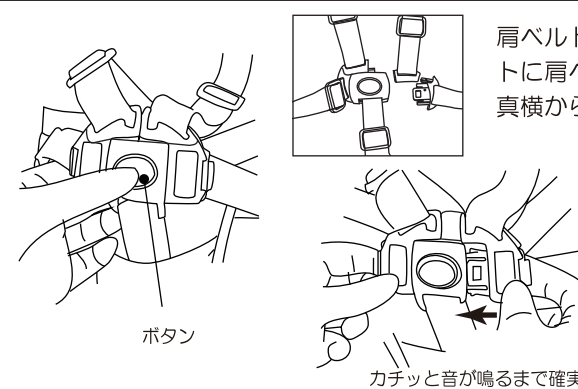
ベビーバギーを折りたたむとき、お子様が傍にいて、車体に触れていると指等を挟んでケガをする危険があります。十分にご注意ください。

## 5. 日除けの取り付け取り外し

<p>1. 日除けを取り付ける時はハンドルパイプ横の日除け受けへ両サイド最後まできちんと差し込んで下さい。</p> <p>日除け受け</p> <p>日除け受けにシートが被さって日除け受けが見えない場合があります。ご注意ください。</p>	<p>2. 日除けを外す時は下図の様にジョイント部を矢印方向に押し上げながら日除けを引き抜いて下さい。</p>
--	---

## 6.シートベルトの使用方法

⚠ バックルをはめ込むときに、指等を挟まないようご注意ください。



ボタン

肩ベルトと腰ベルトのバックルは外れますが、腰ベルトに肩ベルトをセットした後、股ベルトのバックルに真横から差し込んでください。

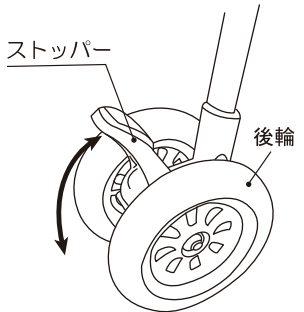
バックルは必ず真横から差し込んで下さい。斜めから差し込むと破損の原因となります。

シートベルトは前のボタンを押すと外れます。バックルをはめる時は一つずつカチッと音が鳴るまで差し込んで下さい。

このシートベルトは5点式です。

カチッと音が鳴るまで確実に差し込んで下さい。

## 7.ストッパーの使用方法



ストッパー

後輪

後輪ストッパーを足で下げると、後輪がロックされて、停車することが出来ます。

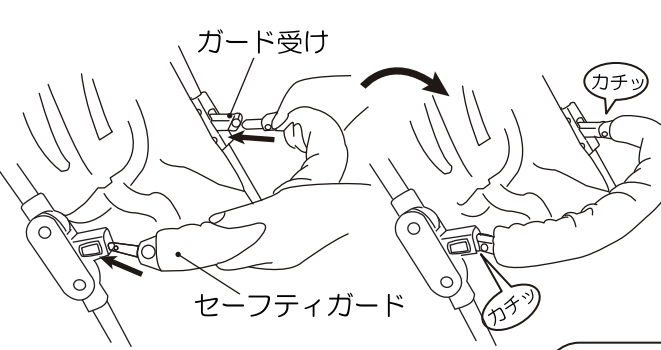
解除する時は、ストッパーを足で上げて下さい。

ストッパーをかける時は、左右両方の車輪をロックして下さい。片方だけをロックすると、ロックをかけた車輪を中心に回転してしまいます。

⚠ お子様を乗せている時には、ストッパーを過信しないで下さい。自動車のブレーキのような完全なものではありません。

## 8.セーフティガードの取り付け方法

⚠ セーフティガード取り付け時に、指等を挟まないようご注意ください。



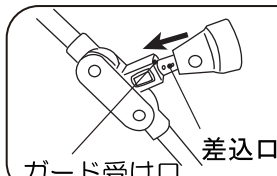
ガード受け

セーフティガード

カチッ

カチッ

1. 左右のガード受け部に、セーフティガードの先端スチール部を差し込んで下さい。
2. 先端スチール部の根元まで必ず差し込んで下さい。根元まで差し込んだら、カチッと音がします。
3. 取り付け後、確実に取り付けられているかを確認して下さい。



ガード受け口

差込口

ガード受け口

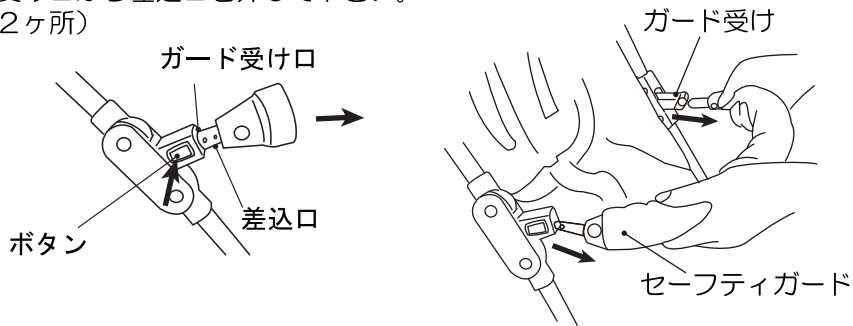
ガード受け口と差込口の形を合わせて下さい。

⚠ セーフティガードが突然外れたりすると、大変危険です。セーフティガードの取り付けは確実に行って下さい。

⚠ セーフティガードを取外したままご使用にはならないで下さい。もし取外したままご使用になる場合はガード受部の穴にお子様指が突っ込まないようにご注意ください。

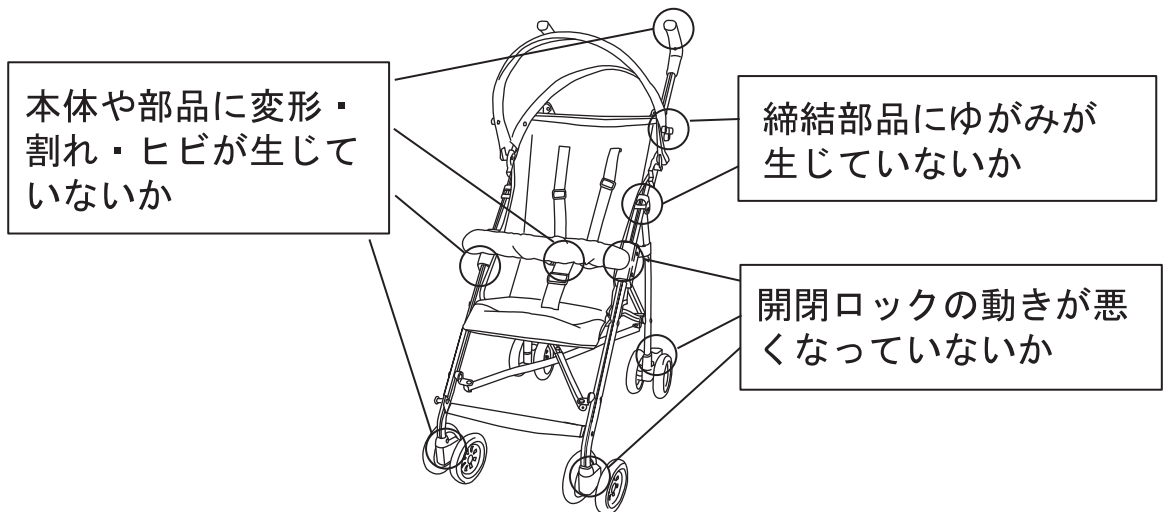
## 9. セーフティガードの取り外し方法

セーフティガード受けのボタンを押しながら、ガード受け口から差込口を外して下さい。  
(両端2ヶ所)



## 10. 日常点検について

寿命を過ぎたバギーを使用し続けると、思わぬ事故が発生する場合があります。バギーは各国の安全基準に適合・準拠した商品であっても、長期間の使用や環境により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなる事で破損に至ることがあります。特に2人目のお子さま、他人からの譲り受け等によるご使用は寿命を超えている場合があります。寿命はメーカーや機種に加えて使用状況や保管状態によりこととなりますが、新規購入時から使用対象月齢期間までが目安です。安心して安全な育児のために、寿命内であっても日頃からのご注意と点検をお願い致します。下記の点を中心に全体をチェックして下さい。



## 11. 車輪カバーについて

折たたんで持ち歩く時は、付属の車輪カバーを前輪に被せてください。

